

反射テスト 複素数 ω の計算 01

1. 1 の 3 乗根のうち虚数になるものの 1 つを ω として, 次の計算をせよ.

ただし答えに ω を用いるときは, ω の次数を 1 次式まで下げること. (S 級 15 秒, A 級 30 秒, B 級 50 秒, C 級 1 分 20 秒)

(1) ω^3

(2) $\omega^2 + \omega$

(3) ω^2

(4) $\frac{1}{\omega^2}$

2. 1の3乗根のうち虚数になるものの1つを ω として, 次の計算をせよ.

ただし答えに ω を用いるときは, ω の次数を1次式まで下げること. (S級25秒, A級45秒, B級1分10秒, C級1分40秒)

(1) ω^6

(2) $\omega^5 + \omega^4$

(3) ω^4

(4) $\frac{1}{\omega + 1}$

反射テスト 複素数 ω の計算 01 解答解説

1. 1の3乗根のうち虚数になるものの1つを ω として、次の計算をせよ。

ただし答えに ω を用いるときは、 ω の次数を1次式まで下げること。(S級15秒, A級30秒, B級50秒, C級1分20秒)

★1の3乗根

$$x^3 = 1 \Leftrightarrow (x-1)(x^2+x+1) = 0 \Leftrightarrow x=1 \text{ 又は } x = \frac{-1 \pm \sqrt{3}i}{2}$$

よって、 $\omega = \frac{-1 + \sqrt{3}i}{2}$ 又は $\frac{-1 - \sqrt{3}i}{2}$ である。

このどちらを ω とおいてもよいが、複素平面上での順番から、

$$\omega = \frac{-1 + \sqrt{3}i}{2}, \omega^2 = \frac{-1 - \sqrt{3}i}{2} \text{ と考えるのが自然.}$$

★ ω の性質

$$\begin{cases} \omega^3 = 1 & (\because \omega \text{ は } x^3 = 1 \text{ の解}) \\ \omega^2 + \omega + 1 = 0 & (\because \omega \text{ は } x^2 + x + 1 = 0 \text{ の解}) \end{cases}$$

(1) ω^3

$$= 1$$

(2) $\omega^2 + \omega$

$$\star \omega^2 + \omega + 1 = 0$$

$$\Leftrightarrow \omega^2 + \omega = -1$$

(3) ω^2

$$\star \omega^2 + \omega + 1 = 0$$

$$\Leftrightarrow \omega^2 = -\omega - 1$$

(4) $\frac{1}{\omega^2}$

$$= \frac{\omega}{\omega^3}$$

$$= \omega$$

2. 1の3乗根のうち虚数になるものの1つを ω として、次の計算をせよ。

ただし答えに ω を用いるときは、 ω の次数を1次式まで下げること。(S級25秒, A級45秒, B級1分10秒, C級1分40秒)

(1) ω^6

$$= (\omega^3)^2$$

$$= \mathbf{1}$$

(2) $\omega^5 + \omega^4$

$$= \omega^3 (\omega^2 + \omega)$$

$$= 1 \times (-1) = \mathbf{-1}$$

(3) ω^4

$$= \omega^3 \times \omega$$

$$= \mathbf{\omega}$$

(4) $\frac{1}{\omega + 1}$

$$= \frac{\omega}{\omega^2 + \omega}$$

$$= \frac{\omega}{-1}$$

$$= \mathbf{-\omega}$$